

オトコマエに見つめられたら ダイエットも一時中断の方向で

「ごちそう=ハンバーガー」と信じて疑わなかったジャパンのいたいけな少年少女たちに、チキンにかぶり付くワンランク上の幸福を刷り込んだ罪な西洋男、カーネルおじさん。彼級の存在感で街にたたずむこの人は誰? よく見ると正統派オトコマエ、遠慮なくあごひげを栽培しておきながら、格好からしてどうやらパーティシエ。え、これもやっぱり店長サン? 似てるかどうかは来店者のみが知る…って、なに今、自分の姿かたちから売り出すの流行ってん?



がしかし、店長(の人形)自ら店頭に立つだけあって、ケーキに対する姿勢も真剣そのもの。アレンギー好き様いなど、事前に相談すれば完全オーダーメイドのケーキも作ってくれるようだ

■阪急桂駅近くのケーキショップ

今月の オレが 甘かった

社会進出を果たしつつあるのは 女性じゃないの? 動物もなの?

阪急東向日駅周辺を閑歩中、背中に感じた微弱な視線。で、そろへ振り向くと、あら、こんなところでクマさんと目が合ってしまった。サロンの看板らしい…いつから人間は大事な髪型をクマさん任せにするようになったんだ? 若干鼻の下伸ばし気味なクマさんが「今日はどうしますか?」って鏡の中から話しかけてくるわけ? そもそもディズニーアニメ並に言葉を操るのかなって気になるところだ。「一度よって確かめた」ことのある人、その真偽教えて~。



とはいって、働くのは店長以下れっきとした芸長類ヒト科の模様。後ろ半分に隠れているのは、この看板の製作者らしい。「似ているかどうかは実際に来て確かめて下さい」ってことで今回店長のお顔はNG。残念

I am a みやげマニア!!

100年後にも残したい
京都おみやげファイル

さらり輝くそのかけらたち
見つけ次第入手すべし!?

石ふしげ博物館の「京都産水晶」

「半導体は水晶のなかの物質を抽出して作られる」そうで、実は近代科学技術の要だった水晶。運がよければ、100円コーナーの中に3個1パックの握り出しが見つかることも

■石ふしげ博物館

いしふしきはくつかん
京都市上京区出水通烏丸西入ル
075-441-3280

10:00~16:00/月~金休 祝入館料200円、小学生以下無料

「一応ね、一応…」を集めたら こんなの撮れてましたけど



オレ甘隊員は、ちょっとでも気になるものは即デジカメでばしゃり。なので、いつの間にか溜まっていた小ネタの中から数点。

1.市役所近くで空を見上げたら発見。ね、くぎ付けでしょ。

2.押してみちゃった人、連絡ください。

3.もうどうにも止められなかつたのね、枝。…と、まあ街に出たらしょっちゅう激写体勢。「こんなところで何撮んの?」と思うような場所で独り言いつつデジカメ構えて人がいたら、どうか温かいご理解を~。

映画的 三昧

イラストと文
ハヤシチサコ



ハヤシチサコ・無類の映画好きのイラストレーターにしてグラフィックデザイナー。「Club Fame」時代には、彼女のデザインが表紙を飾ったこともあり。編集部の熱望により本誌への登場と相成った。